

第5回八潮市庁舎建設基本構想策定審議会

資料

平成29年11月17日

八潮市 企画財政部 財政課

回	審議会議題(案)
第一回 (6月6日)	①今年度の取組概要 ②現状整理 ③基本理念及び基本方針(案)、導入機能(案) ④新庁舎建設場所(素案) ⑤市民アンケート調査の実施 ⑥ワークショップの実施方針
第二回 (7月14日)	①基本理念及び基本方針(確認) ②導入機能(確認)(複合化含む) ③新庁舎建設場所(確認) ④ワークショップ実施内容(確認)
第三回 (8月28日)	①ワークショップ結果(確認) ②アンケート内容(確認) ③規模設定の考え方(確認)
第四回 (10月27日)	①アンケート結果報告 ②ワークショップで出た意見について ③導入機能(複合化含む)について
第五回 (11月17日)	①基本構想(素案)取りまとめ(基本合意)
第六回 (1月中旬)	①パブコメ、庁内意見への対応(報告) ②基本構想(素案)取りまとめ(合意)
第七回 (2月中旬)	①基本構想答申

内容	時間
① 挨拶 ほか	9:30～9:40 (10分)
② 前回(第4回)審議会のふりかえり	9:40～9:50 (10分)
③ 議事	9:50～11:00 (70分)
④ その他	—

項目	ページ	意見等	対応(考え方)
議題① 「市民アンケート調査結果について」 及び 議題② 「ワークショップで出された主なキーワードに対する現状及び今後の取組みについて」	【全般:アンケート結果の読み取り方・分析の仕方について】		今回のアンケート結果を踏まえて、クロス集計によりそこから見えてくるものを更に分析し、ワークショップ及び基本方針との整合性を確認する。
	P46	①“ワークショップで出た意見とアンケート結果の比較”については、全体として一律に数字として扱うと判断に誤りが生じる。 (他の問の結果を分析することにより、見えてくるものがある)	
	P18	②問1“最近5年間で本庁舎・別館庁舎を訪れた回数”では、「ほぼ来ない」「たまに来る」「比較的良く来る」に分けられる。	
	P14	③問1の回答を踏まえ、問10②”市民が利用する必要と思われる空間“を見ると「利用頻度の高い人は、実際利用した実感としての意見」として、また、「利用頻度の低い人は、そういった場所があれば来るかもしれないといった意味の意見」と捉えることができ、それぞれ意味や解釈が異なってくる。	
	P15	④問14“つぎに該当するお子様はいらっしゃいますか”では、未就学児、小学生を選択した方の割合が低いが、小さいお子さんのいる若い世代の意見としては重要な意見となることに注意が必要。	
	P17 P15	⑤問17“市内への通勤・通学”では、市内に「通勤・通学していない」が66.7%と高くなっているが、問13の家事専業、職についていない方を抜いていないのではないか。ベッドタウンとして強く意識しすぎてしまう危険性がある。	・単純集計であり、「家事専業」や「職についていない」方は抜いていない。 ・質問の仕方を工夫する必要があった。
	【問9:各基本方針に対して、特に重要だと思うもの】		(①に関して)
	P13	①“基本方針5:八潮らしさを感じられる庁舎”に関して「魅力がある」の回答数が多いが、どのような魅力なのか。具体的な内容は分かるか。	・選択式の設問のため、多くの方が選んでいること以外は分からない。自由意見についても分析途中である ・複数回答のため「魅力がある」と同時に「デザイン性」を選択していれば、デザインに関する魅力といえるのではないか。
	P29	②“基本方針1:市民の利便性が高く、共生・協働の場となる庁舎”に関して「高齢者」「子ども・子育て」の回答は世代別で特徴が見られ、共生・協働が感じられず、考えていかなければいけない点ではないか。	
	【問10:回答者の考え方について】		多くの市民にご協力をいただいたアンケートであるので、できるだけ分析を行い、基本計画に向けた整理ができるよう検討する。
P14	このアンケートでどこまで読み込むかが難しい。 ①複合化しようとする場合、良いと思う施設についてどこまで庁舎機能として求めるのか。このためには、複合化が必要となるのか。 ②市民が利用する空間として必要と思われる空間について多目的スペースの回答数が多いが、市役所に何を求めているのか。		

前回（第4回）審議会のふりかえり

項目	ページ	意見等	対応(考え方)
議題① 「市民アンケート調査結果について」		【今後の方向性】 ①全てのニーズに応えられないとすると、今後市として何を重視するのか。コンセプト作りに大きく関わってくる。(例:若年者・子育て世代、利用していない方、よく利用する方) ②防災に関しては、行政規模に合った、市民の負担のかからないものがある。 ③市役所にはモノ的な機能を求めている。災害時の情報発信等、市ができることを明示してほしい。	防災に関しては、市民、行政の両面での取組を進めている。現在、地域防災計画の見直しとしてBCP(業務継続計画)の見直しや受援計画の作成を行っている。市職員も市外からの通勤者が多い状況等がある中で、小中学生を含めた市民の皆様とともに連携していきたい。
及び 議題② 「ワークショップで出された主なキーワードに対する現状及び今後の取組みについて」		【各基本方針において、優先すべきキーワードと補足事項】 基本方針① 利便性を重視しつつ、色々なニーズを取り込んでいく。 基本方針② 防災拠点性を第一とし、地域交流やみんなが集まれるなどの多機能性がある 基本方針③ 窓口がはっきり分かりやすく、適正な規模で配置されている。 基本方針④ 長期的な視点で見た財政や費用に配慮されていること、そのために民間企業・企業との連携が活用される機会が確保されている。 基本方針⑤ デザイン性・シンボル性がある八潮らしい魅力がある。	基本方針ごとに、この内容を踏まえ基本構想(素案)の原案を作成していく。
議題③ 報告事項 「施設の複合化にあたっての検討状況について」	P61	①メセナは、平成2年竣工でまだ新しいのではないか。 ②集約化しすぎると、一極に人が集まりすぎるリスクがあるようにも感じる。 ③審議会の議論のタイミングに合わない。構想に出来るだけコスト増にならないように一言入れる必要があるのではないかと。【会長コメント】	メセナについては、建物内部の設備の老朽化等が深刻となっている。基本的には規模は増やさない方向だが、維持管理費をどうしていくのか、いかに使われる施設にするのかなど、様々な面から検討していく。 今後、基本構想のまとめ及び答申の内容に関して、どのような表現にしていくのか検討する。

分類	特徴
鉄骨造	耐震性・靱性に優れた鉄製や鋼製の部材を用いる構造。 軽く、工期が短い。
鉄筋コンクリート造	鉄筋とコンクリートの長所をいかし、耐震性に優れ、自由度も高い構造。 重さがあるため、免震構造に適する。
鉄骨鉄筋コンクリート造	鉄骨で柱や梁等の骨組を組み、その周りに鉄筋を配筋してコンクリートを打ち込むことで、RC造とS造の長所を兼ね備えている構造。

本日の議題

分類	項目
①考え方を確認する事項	基本理念、基本方針、新庁舎の場所、市民から求められる機能
②概ねの考え方を確認する事項	規模、概算事業費
③説明までとする事項(基本計画へつなげる)	事業手法